

## 1.高齢者の人口

**総人口が減少する中で、高齢者人口は 3588 万人と過去最多**

**総人口に占める割合は 28.4%と過去最高**

我が国の総人口（2019年9月15日現在推計）は、前年に比べ26万人減少している一方、65歳以上の高齢者（以下「高齢者」といいます。）人口は、3588万人と、前年（3556万人）に比べ32万人増加し、過去最多となりました。総人口に占める割合は28.4%と、前年（28.1%）に比べ0.3ポイント上昇し、過去最高となりました。

男性は1560万人（男性人口の25.4%）、女性は2028万人（女性人口の31.3%）と、女性が男性より468万人多くなっています。

年齢階級別にみると、いわゆる「団塊の世代」（1947年～1949年生まれ）を含む70歳以上人口は2715万人（総人口の21.5%）で、前年に比べ、98万人増（0.8ポイント上昇）となりました。

また、75歳以上人口は1848万人（同14.7%）で、前年に比べ、53万人増（0.5ポイント上昇）、80歳以上人口は1125万人（同8.9%）で、21万人増（0.2ポイント上昇）となりました。

総人口に占める高齢者人口の割合の推移をみると、1950年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、1985年に10%、2005年に20%を超え、2019年は28.4%となりました。

### 日本の高齢者人口の割合は、世界で最高（201の国・地域中）

2019年の高齢者の総人口に占める割合を比較すると、日本（28.4%）は世界で最も高く、次いでイタリア（23.0%）、ポルトガル（22.4%）、フィンランド（22.1%）などとなっています。

表3 高齢者人口の割合（上位10か国）（2019年）

順位	国・地域	総人口 (万人)	65歳以上人口 (万人)	総人口に占める 65歳以上人口の割合 (%)
1	日本	12617	3588	28.4
2	イタリア	6055	1393	23.0
3	ポルトガル	1023	229	22.4
4	フィンランド	553	122	22.1
5	ギリシャ	1047	230	21.9
6	ドイツ	8352	1801	21.6
7	ブルガリア	700	149	21.3
8	マルティニーク	38	8	21.0
9	クロアチア	413	86	20.9
10	マルタ共和国	44	9	20.8

資料：日本の値は、「人口推計」、

他国は、*World Population Prospects: The 2019 Revision* (United Nations) (201の国及び地域を掲載)

注) 日本は、9月15日現在、他国は、7月1日現在

<注記> 上記の記述及び表は、総務省統計局の発表してるデータを基にしています。